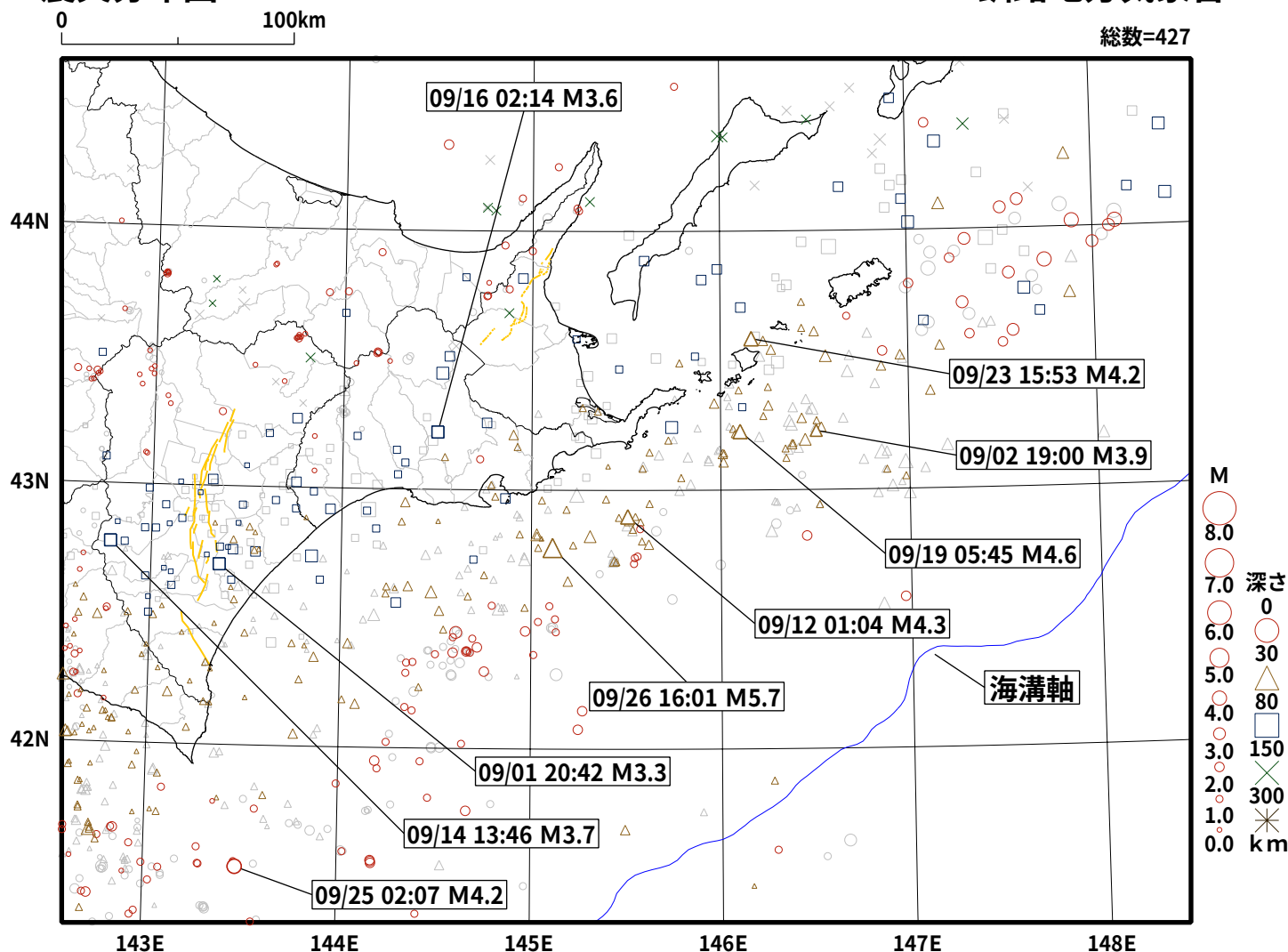


釧路・根室・十勝地方の地震活動図

2024年9月1日～2024年9月30日

震央分布図

釧路地方気象台



地震概況（2024年9月）

この期間、釧路・根室・十勝地方の震度観測点で震度1以上を観測した地震は9回(先月8月は12回)で主な地震は次のとおりです(詳細は「釧路・根室・十勝地方で震度1以上を観測した地震の表」を参照)。

19日05時45分、根室半島南東沖を震源とする地震(M4.6、深さ76km)により根室市で震度3を観測したほか、釧路・根室地方で震度2から1を観測しました。

23日15時53分、国後島付近を震源とする地震(M4.2、深さ79km)により根室市で震度3を観測したほか、釧路・根室地方で震度2から1を観測しました。

26日16時01分、釧路沖を震源とする地震(M5.7、深さ59km)により、釧路市、弟子屈町、厚岸町、浜中町、標茶町、根室市、標津町、別海町で震度4を観測したほか、釧路・根室・十勝地方で震度3から1を観測しました(詳細は別紙1参照)。

釧路・根室・十勝地方で震度4以上の地震を観測したのは、2024年1月13日、釧路地方北部を震源とする地震により弟子屈町で震度4を観測して以来です。

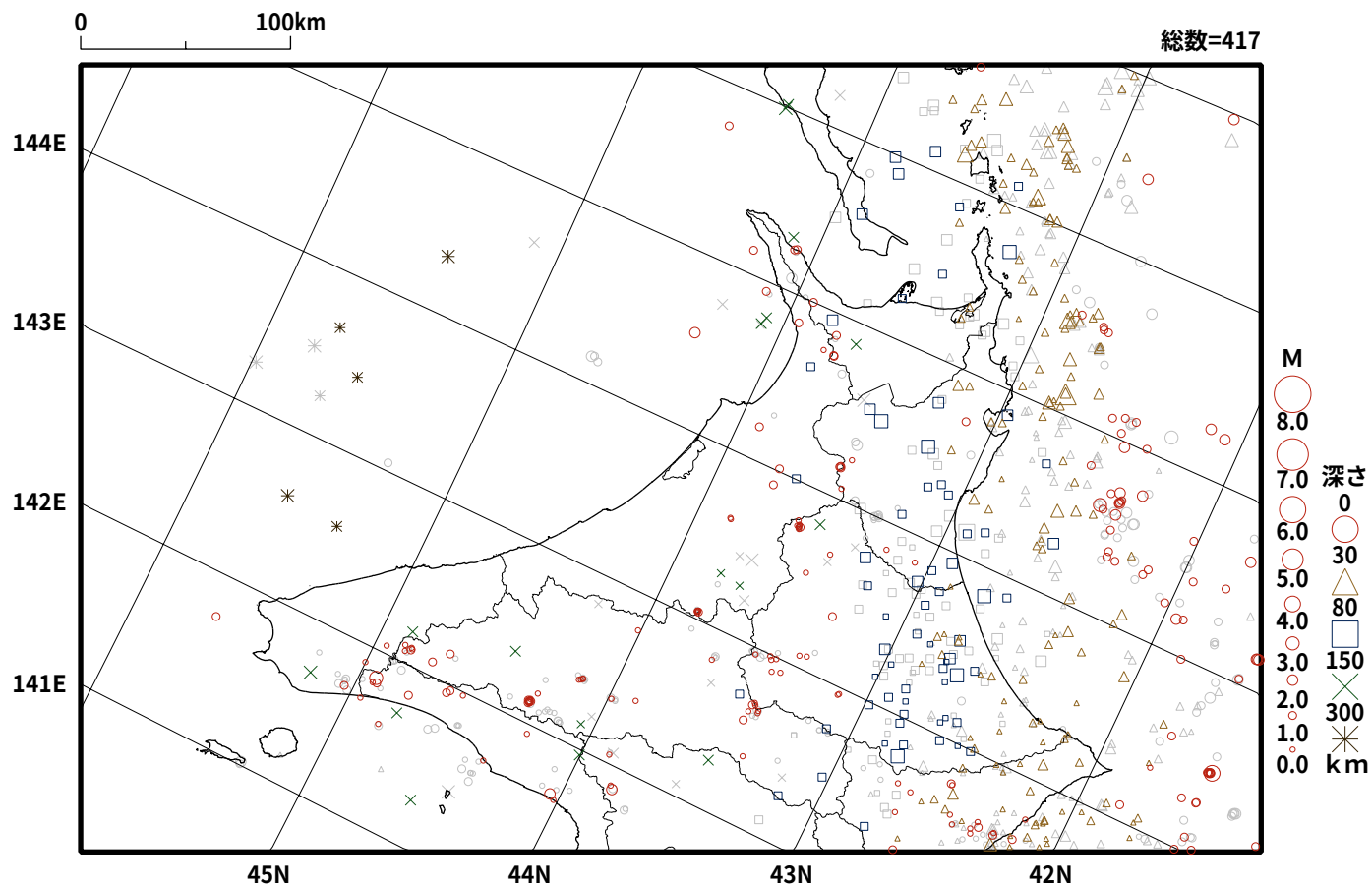
この活動図は、釧路地方気象台のホームページに掲載しています。

https://www.data.jma.go.jp/kushiro/bosai/earthquake/earthquake_data.html

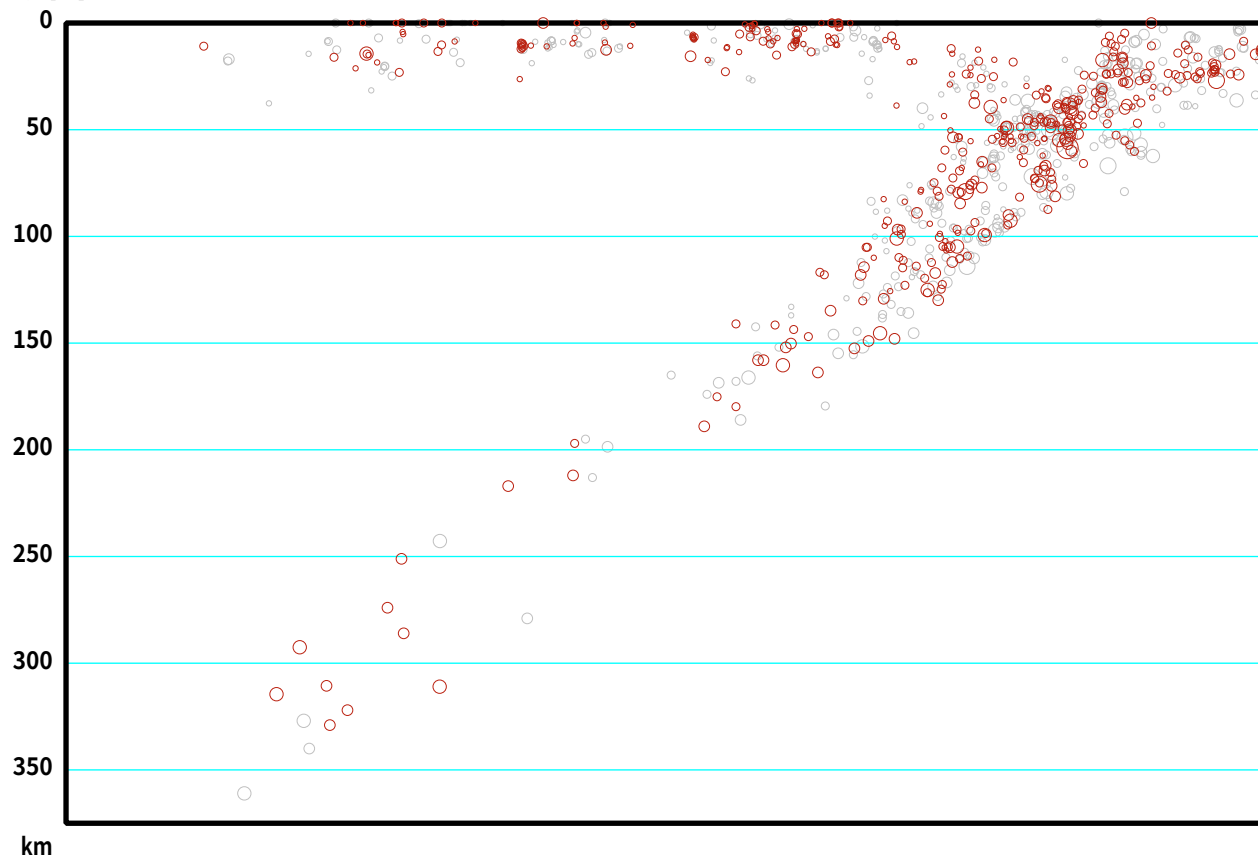
この資料に関する問い合わせ先 釧路地方気象台 TEL 0154-31-5110

2024年9月1日～2024年9月30日

震央分布図

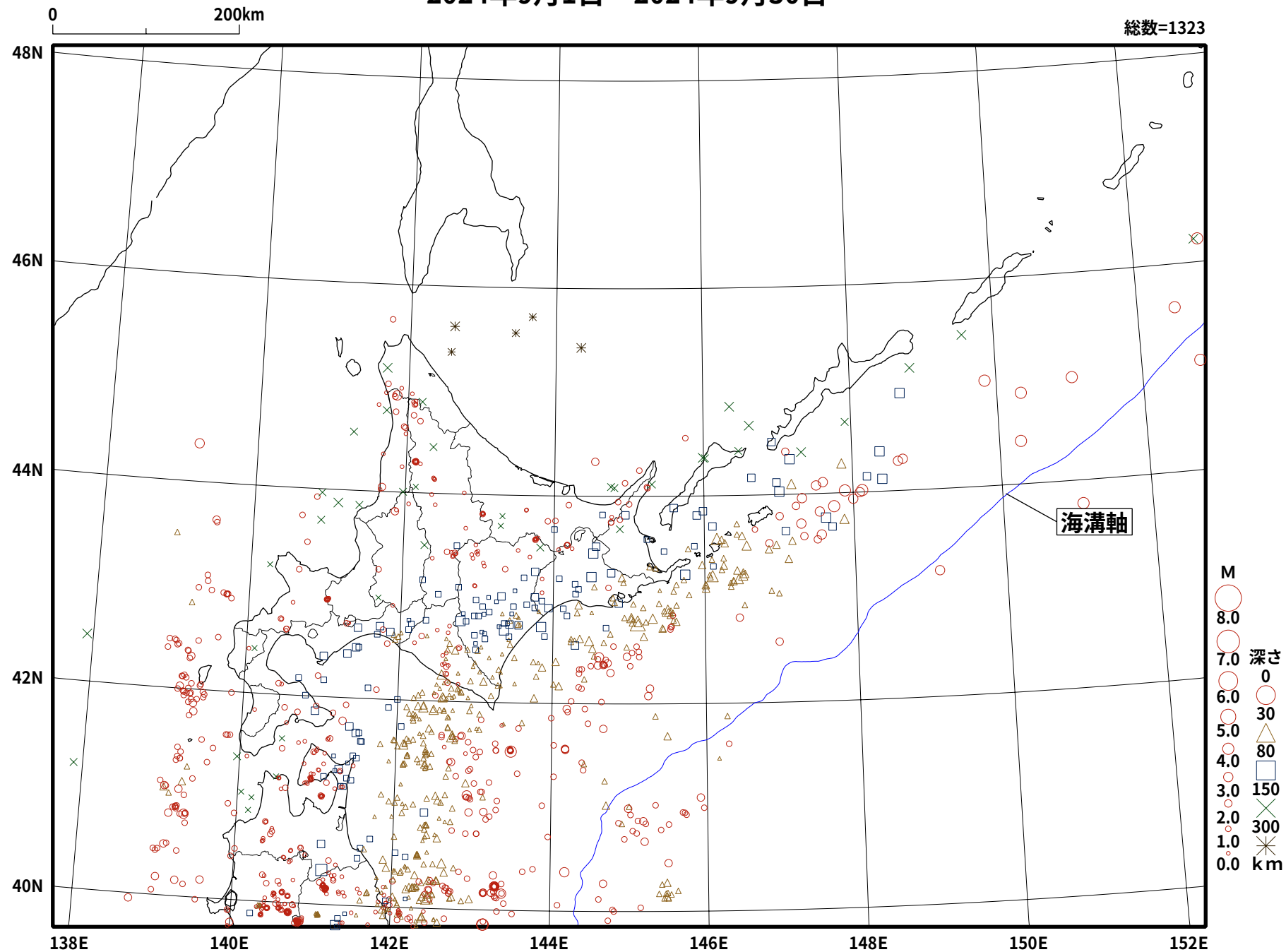


断面図



震央分布図

北海道の地震活動図 2024年9月1日～2024年9月30日



釧路・根室・十勝地方で震度1以上を観測した地震の表（2024年9月）

年 月 日 地方	時 分 震度	震央地名 震度観測点名	北緯（N）	東経（E）	深さ（km）	規模（M）
2024年 9月 1日 十勝地方	20時42分 震度1	十勝地方中部 浦幌町桜町*（10）	42°41.8' N	143°21.5' E	105km	M3.3
2024年 9月 2日 根室地方	19時00分 震度1	根室半島南東沖 根室市落石東*（07） 根室市瑤瑤瑁*（07）	43°13.6' N	146°30.4' E	55km	M3.9
2024年 9月12日 釧路地方 根室地方	01時04分 震度2 震度1 震度2 震度1	釧路沖 浜中町湯沸（16） 浜中町茶内*（20） 標茶町塘路*（08） 根室市牧の内*（19） 根室市厚床*（22） 根室市落石東*（18） 根室市瑤瑤瑁*（21） 標津町北2条*（08） 別海町常盤（07） 別海町本別海*（07） 根室市弥栄（12） 根室市豊里（07）	42°53.8' N	145°30.4' E	39km	M4.3
2024年 9月14日 十勝地方	13時46分 震度2 震度1	十勝地方中部 浦幌町桜町*（16） 新得町2条*（11） 帯広市東4条（06） 帯広市東6条*（10） 十勝清水町南4条（06） 芽室町東2条*（14） 幕別町忠類錦町*（09） 幕別町本町*（10） 十勝池田町西1条*（13） 豊頃町茂岩本町*（08） 本別町北2丁目（06） 本別町向陽町*（07） 標茶町塘路*（05）	42°46.6' N	142°47.0' E	101km	M3.7
2024年 9月16日 釧路地方 根室地方	02時14分 震度1 震度1	釧路地方中南部 釧路市幸町（08） 厚岸町尾幌（05） 標茶町塘路*（10） 鶴居村鶴居東*（07） 根室市牧の内*（05） 根室市厚床*（08）	43°13.2' N	144°30.0' E	125km	M3.6
2024年 9月19日 根室地方	05時45分 震度3 震度2	根室半島南東沖 根室市落石東*（27） 中標津町丸山*（23） 標津町北2条*（23） 羅臼町岬町*（17） 別海町常盤（18） 別海町西春別*（19） 別海町本別海*（19） 根室市豊里（17） 根室市牧の内*（22） 根室市厚床*（21） 根室市瑤瑤瑁*（24） 中標津町養老牛（13） 標津町古多糠（06） 標津町薫別*（13） 羅臼町春日（09） 羅臼町緑町*（08） 根室市弥栄（12） 浜中町茶内*（16） 標茶町塘路*（15） 釧路市幸町（06） 釧路市阿寒町中央*（09） 厚岸町尾幌（08） 浜中町湯沸（07） 標茶町川上*（07） 鶴居村鶴居東*（10） 白糠町西1条*（10）	43°13.5' N	146°06.1' E	76km	M4.6
2024年 9月23日 根室地方	15時53分 震度3 震度2	国後島付近 根室市牧の内*（27） 中標津町丸山*（17） 根室市豊里（15） 根室市厚床*（18） 根室市落石東*（16） 根室市瑤瑤瑁*（22） 標津町北2条*（12） 羅臼町岬町*（08） 別海町常盤（10） 別海町本別海*（10） 根室市弥栄（12） 浜中町茶内*（13） 標茶町川上*（06） 標茶町塘路*（10）	43°35.0' N	146°09.8' E	79km	M4.2
2024年 9月25日 十勝地方	02時07分 震度1	十勝沖 十勝大樹町東本通*（06）	41°31.8' N	143°28.5' E	27km	M4.2
2024年 9月26日 釧路地方 根室地方 十勝地方	16時01分 震度4 震度3 震度2 震度4 震度3 震度2 震度2 震度3 震度1	釧路沖 弟子屈町弟子屈*（35） 釧路市黒金町*（37） 厚岸町尾幌（36） 浜中町茶内*（39） 標茶町塘路*（36） 弟子屈町美里（29） 釧路市幸町（31） 釧路市阿寒町中央*（28） 釧路市音別町中園*（26） 釧路町別保*（30） 厚岸町真栄*（31） 浜中町湯沸（33） 標茶町川上*（30） 鶴居村鶴居東*（26） 白糠町西1条*（28） 弟子屈町サウンチサップ*（21） 釧路市阿寒町阿寒湖温泉*（24） 標津町北2条*（43） 別海町常盤（35） 別海町西春別*（39） 根室市厚床*（41） 根室市落石東*（37） 根室市瑤瑤瑁*（37） 中標津町養老牛（28） 中標津町丸山*（30） 羅臼町岬町*（31） 別海町本別海*（28） 根室市牧の内*（33） 標津町古多糠（20） 標津町薫別*（21） 羅臼町春日（20） 羅臼町緑町*（22） 根室市弥栄（24） 根室市豊里（21） 鹿追町東町*（25） 新得町2条*（28） 十勝清水町南4条（26） 十勝池田町西1条*（27） 浦幌町桜町*（28） 十勝大樹町生花*（27） 足寄町上螺湾（24） 足寄町南1条*（22） 帯広市東4条（17） 帯広市東6条*（17） 音更町元町*（17） 芽室町東2条*（20） 幕別町忠類明和（18） 幕別町忠類錦町*（24） 幕別町本町*（22） 豊頃町茂岩本町*（17） 本別町北2丁目（17） 本別町向陽町*（18） 中札内村東2条*（17） 更別村更別*（23） 十勝大樹町東本通*（22） 広尾町並木通（21） 広尾町白樺通（16） 上土幌町清水谷*（11） 上土幌町上土幌*（14） 陸別町陸別*（14） 土幌町土幌*（14）	42°46.6' N	145°06.7' E	59km	M5.7

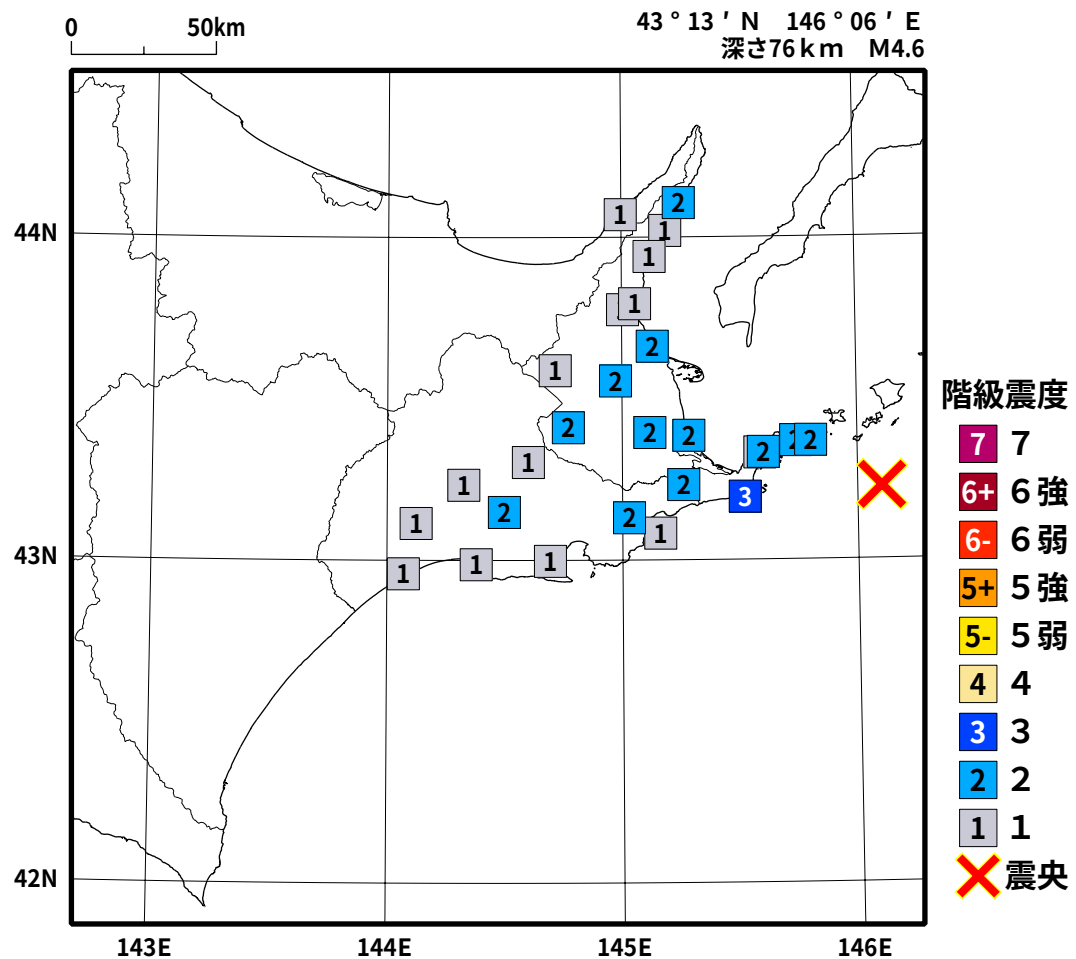
*のついている地点は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

()内の数値は0.1単位の詳細な震度（計測震度）の小数点を省略して表しています。

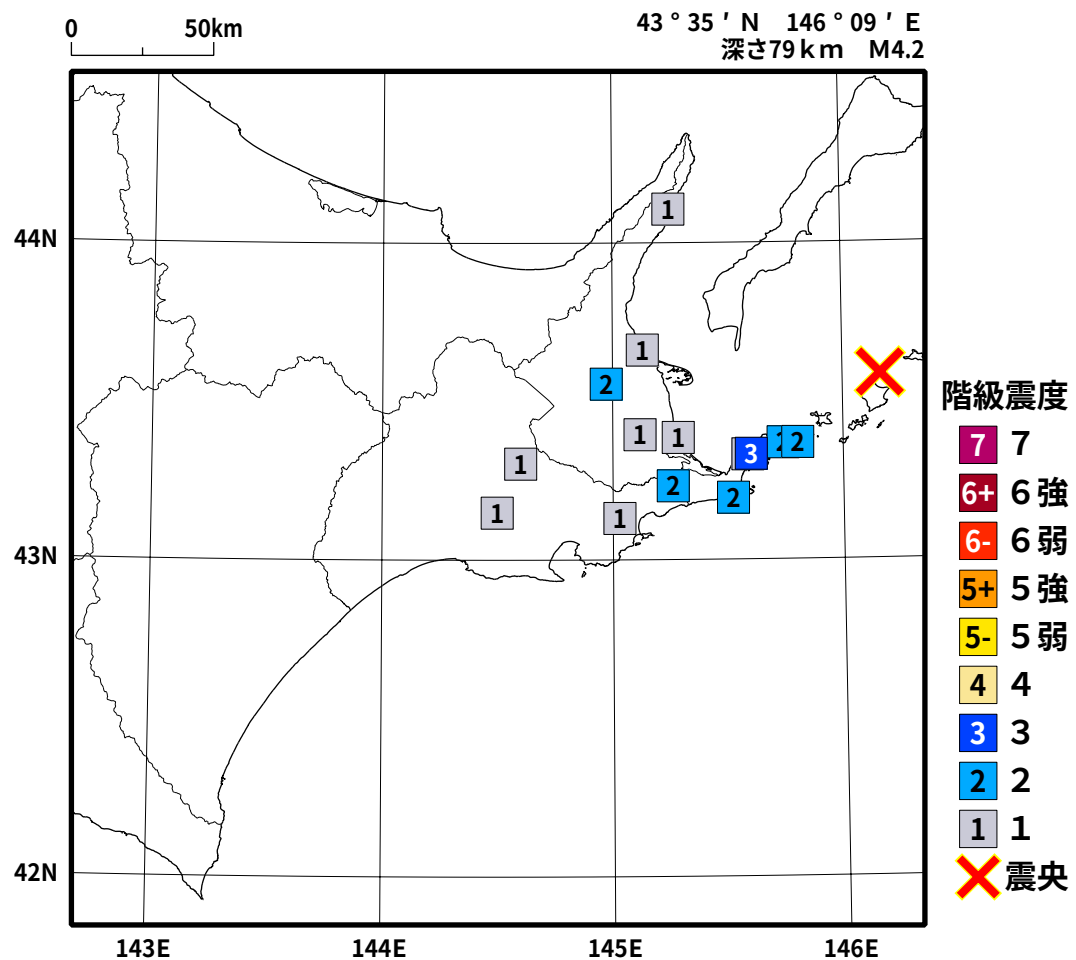
計測震度と震度階級の関係

計測震度	～0.4	0.5～1.4	1.5～2.4	2.5～3.4	3.5～4.4	4.5～4.9	5.0～5.4	5.5～5.9	6.0～6.4	6.5～
震度階級	0	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7

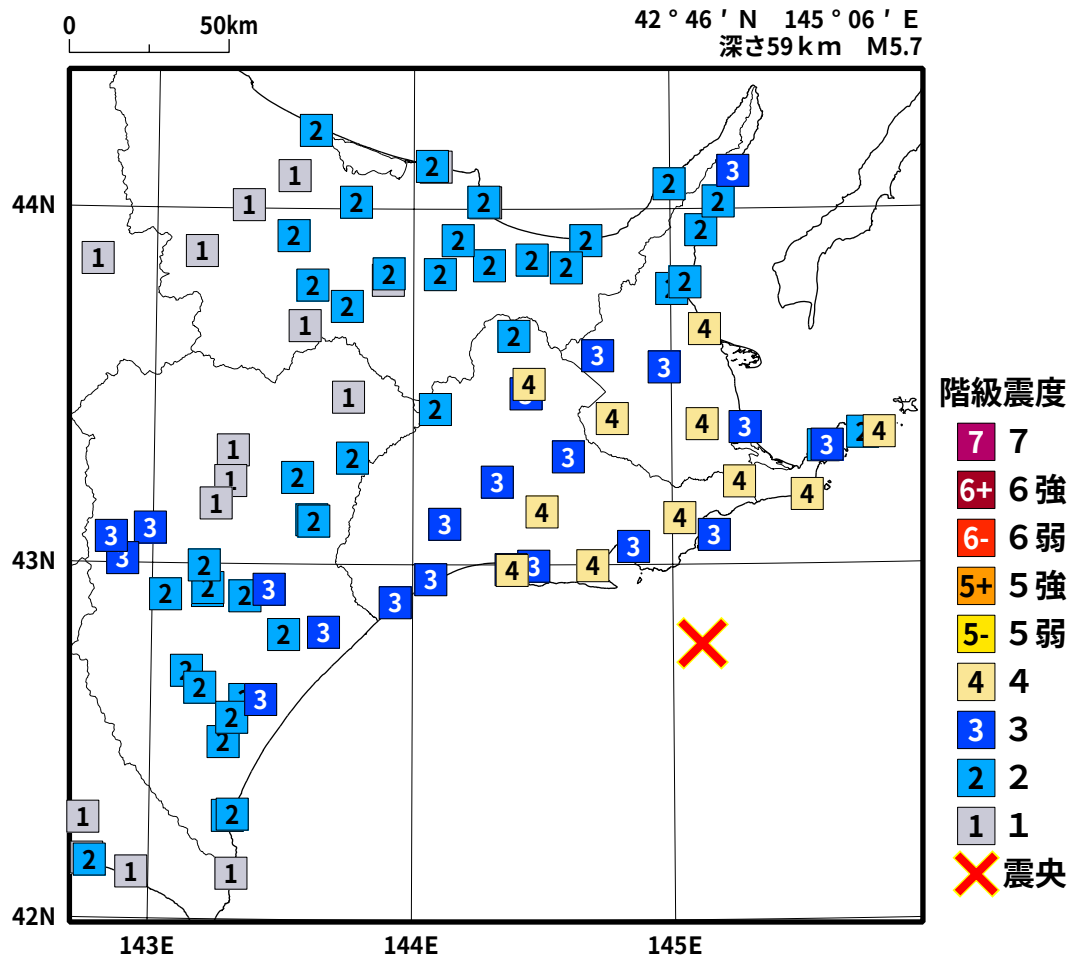
2024年 9月19日05時45分 根室半島南東沖の地震の震度分布図



2024年 9月23日15時53分 国後島付近の地震の震度分布図



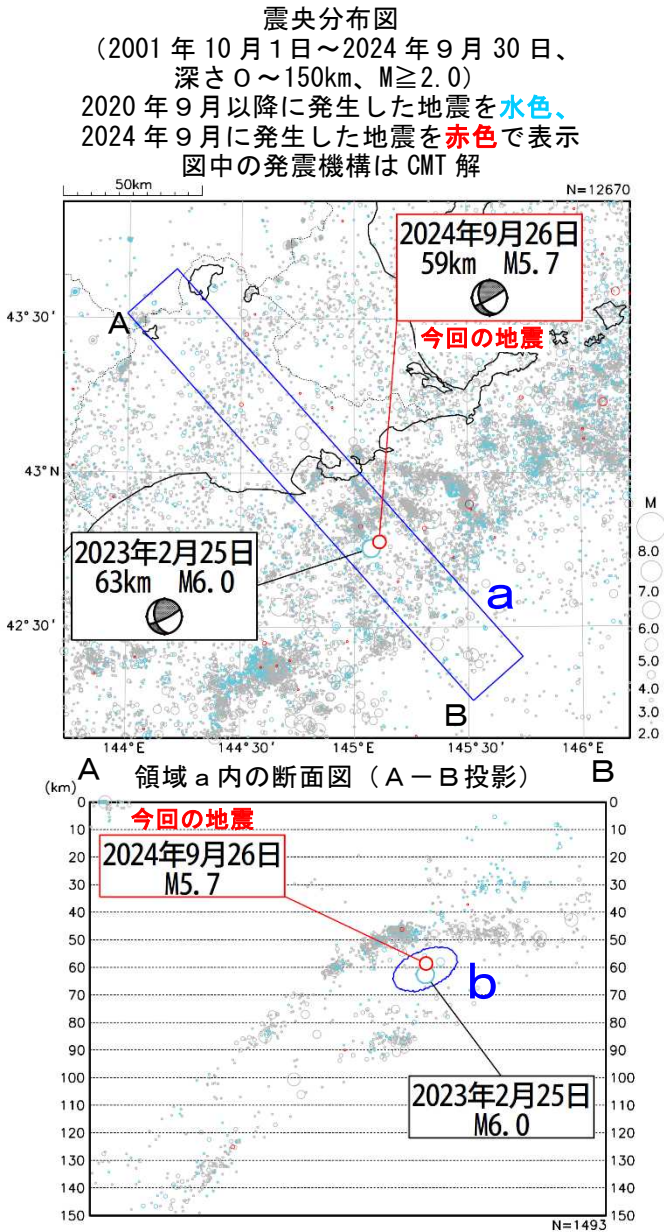
2024年 9月26日16時01分 釧路沖の地震の震度分布図



本資料の利用にあたって

- ・ 本資料の震源要素及び震度データは暫定値であり、データは後日変更することがあります。
- ・ 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。
- ・ 図中橙色の線は、地震調査研究推進本部が地震発生可能性の長期的な確率評価を行った主要活断層を表します。
- ・ 過去の地震と比較するため、前3ヶ月（今期間を含まない）の震央を灰色のシンボルで表します。
- ・ 本資料中の地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号平29情使、第798号）。

9月26日 釧路沖の地震

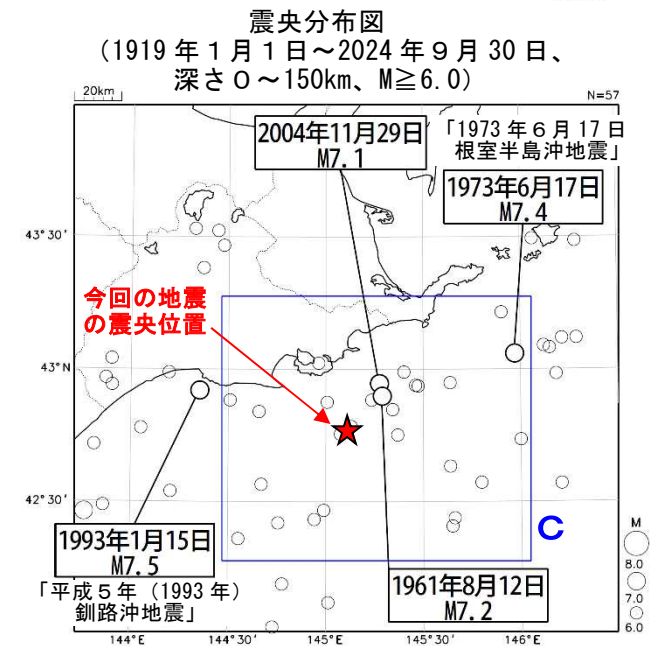
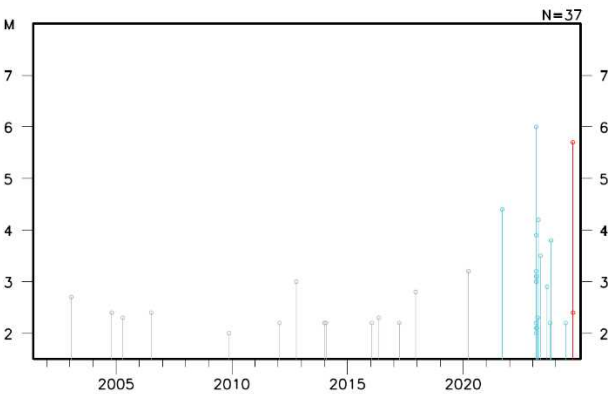


2024年9月26日16時01分に釧路沖の深さ59kmでM5.7の地震（最大震度4）が発生した。この地震は太平洋プレート内部で発生した。発震機構（CMT解）は北西－南東方向に圧力軸を持つ型である。

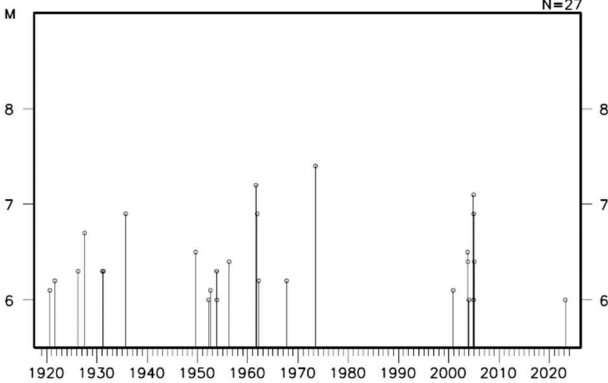
2001年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）では、2023年2月25日にM6.0の地震（最大震度5弱）が発生している。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、M7.0以上の地震が3回発生している。最大規模の地震は「1973年6月17日根室半島沖地震」（M7.4、最大震度5）で、根室市花咲で280cm（平常潮位からの最大の高さ）の津波を観測した。また、負傷者28人、住家被害5,153棟などの被害が生じた。（「昭和48・49年災害記録 北海道」による）。

領域b内のM-T図



領域c内のM-T図



【防災メモ】

～11月5日は津波防災の日・世界津波の日～

●津波防災の日・世界津波の日とは

平成23（2011）年3月11日に発生した東日本大震災を教訓として、同年6月に津波対策を総合的かつ効果的に推進することを目的とした「津波対策の推進に関する法律」が制定されました。その中で、国民の間に広く津波対策についての理解と関心を深めるために、11月5日を「津波防災の日」とすることが定められました。11月5日（旧暦）は、安政元年（1854年）に、「稲むらの火」※1のモデルとなった、安政南海地震が発生した日です。さらに、平成27年の国連総会では11月5日を「世界津波の日」とすることが採択され、津波防災の新たな取り組みが始まりました。

※1「稲むらの火」

海辺の村を大津波が襲った際、村の郷土が積み上げられた稲束の「稲むら」に火を放ち、暗闇の中で多くの村人を高台に導いて救ったという物語。戦前の国語教科書に掲載され、現在も津波防災教材として国内外で高く評価されています。

●「北海道・三陸沖後発地震注意情報」について

北海道でも大きな津波を伴う巨大地震が繰り返し発生しています。巨大地震による被害を少しでも減らすため、想定震源域やその周辺でマグニチュード7.0以上の地震が発生し、大規模地震発生の可能性が平常時より相対的に高まった際に、「北海道・三陸沖後発地震注意情報」を発表します。

この情報は令和6年8月に発表された「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」と同様に、事前避難を呼びかけるものではありません。慌てずに日頃からの備えを再確認しましょう。

札幌管区気象台HP

「北海道・三陸沖

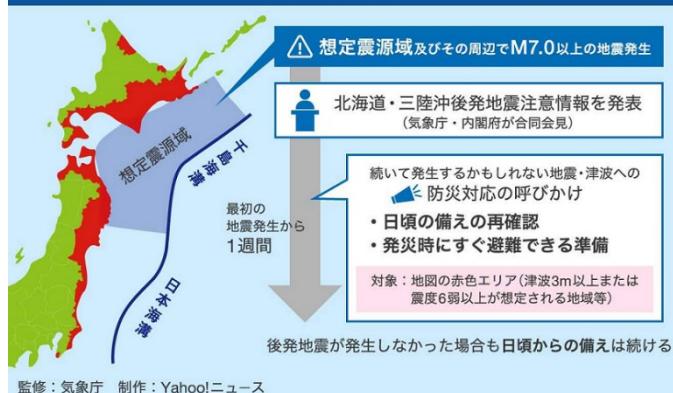
後発地震注意情報」



北海道・三陸沖後発地震注意情報とは

- ・日本海溝・千島海溝沿いの後発地震（※発生確率は1/100程度）に注意を促すため最初の地震発生後に発表
- ・事前避難を呼びかけるものではない

発表の流れ



●津波から身を守るために

危険な場所を確認しよう

津波に襲われる恐れのある場所をハザードマップや周辺地形から確認しておきましょう。



津波注意

避難場所を確認しよう

津波避難ビルや津波避難場所がどこにあるか、また避難経路などを周りの人と確認しておきましょう。



津波避難ビル・津波避難場所

避難訓練に参加しよう

実際に避難経路をたどってみるなど、積極的に訓練に参加しましょう。

